

# 採用について

## 採用試験

### 受験資格

- 受験する年度の4月1日時点で30歳未満である者
- 獣医師国家試験に合格している者、又は、当該年度3月31日までに獣医師国家試験の受験資格を有する見込みのある者

### 近年の採用実績

実施年度	受験者数	合格者数	最終合格者数 (女性数)
平成29年度	11名	6名	2名(0名)
平成30年度	16名	11名	2名(1名)
2019年度	6名	3名	1名(0名)
令和2年度	8名	5名	4名(3名)
令和3年度	3名	3名	3名(2名)
令和4年度	4名	4名	4名(1名)

### 試験日程

最新の情報は獣医系技術職員ホームページでご確認ください。

#### 6月上旬(1次試験)

- 専門試験(多肢選択式・記述式)
- 基礎能力試験(多肢選択式)

#### 1次試験について

専門試験は多肢選択式(教養試験60問、専門試験60問)、記述式(専門試験の記述4問)で構成されており、通常2日に分けて実施されます。

#### 7月下旬(2次試験)

- 政策課題討議試験
- 人物試験 ※英語試験(TOEIC等)の加算あり

#### 2次試験について

政策課題討議試験とは、政策の企画立案に必要な能力その他総合的な判断力及び思考力についての総合試験であり、特にグループ討議によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を評価するものです。

人物試験では、人柄、対人的能力などについて個別面接を行います。

## 採用試験体験談

### いつから試験対策を始めましたか。

- まずは外部英語試験を活用するためのTOEIC勉強をしました。大学5年の1月頃(TOEIC受験後)から教養・専門試験の勉強を始めました。
- 試験直前の春休みから始めました。他の地方自治体の対策も並行して進めました。

### 基礎能力試験はどのように対策しましたか。

- 試験時間内に全問回答することが難しかったため、センター試験で選択した教科と時事を中心に勉強し、それらで点数を取れるようにしました。
- 市販の問題集を購入し、繰り返し解いて勉強しました。
- 採用試験の過去問を使って勉強しました。また、過去問から傾向や難度を把握しました。

### 専門試験はどのように対策しましたか。

- 国家試験対策の前借りという気持ちで、試験範囲をまんべんなく勉強しました。
- ただ単に過去問を解くだけでなく、正解の選択肢に書いてあること以外についても深く掘り下げ、まとめノートを作成していました。就職試験だけでなく国家試験対策としても使うことができます。

### 政策課題討議はどのように対策しましたか。

- 大学の就職課や友人と政策課題討議の練習をして臨みました。
- 普段から複数の媒体でニュースを見るようにしていました。
- 過去問のテーマを参考に、読みやすいレジュメを作る練習をしました。また、厚生労働白書や新聞を購読し、政策についてどういう意見・考え方があるのかを把握するように心掛けました。

### 人物試験はどのように対策しましたか。

- 声量と目線を面接官と合わせることを意識しました。
- 何を聞かれても答えられるように普段からいろいろなことを考えておくことや笑顔で元気よく応対することが大切だと思います。
- 質問に困っても変にごまかさず、正直な意見を述べました。

### 採用試験対策のほか、学生のうち(入省前)にやっておいて良かったこと、やっておくべきだったことはありますか。

- 輸入元の相手国の法令を英文のまま読むことも多いので、英語の勉強をしておくこと。
- 公務員として就職すると考えていても、臨床の実習や企業でのインターンに参加してみることに。
- コミュニケーション力が大事になってくるので、色々な人とお話をし、見聞を広めておくこと。

## 採用関連イベント

### 各種説明会

各種説明会で実際に厚生労働省で働く先輩の話をご直接聞くことができます。

遠方でも参加できるようオンライン形式でも行っています。海外留学、採用試験、実際の働きやすさなど何でも質問してください。



令和4～5年度  
の実施例

8月：オンライン説明会  
12月：公務研究セミナー  
3月：霞が関OPENゼミ  
通年：大学での出張講義

最新情報はホームページ等でお知らせしています。

質問や業務説明は随時受け付けていますので採用担当までご連絡ください。

## その他の制度等

### 研修制度

人事院が、全府省の職員を対象とした研修を実施しています。その中では、初任行政研修や3年目フォローアップ研修といった役職段階別の研修や、キャリア支援研修といったテーマ別の研修等があります。

人事院の研修制度の詳細については、  
人事院のホームページをご覧ください。

[https://www.jinji.go.jp/ichiran/ichiran\\_kensyuu.html](https://www.jinji.go.jp/ichiran/ichiran_kensyuu.html)

### インターンシップ制度

厚生労働省では毎年8～9月頃に1週間程度のインターンシップを実施しており、獣医系技官として採用された場合に配属される部署を実際に体験していただけます。体験内容は年度により異なりますが、本省の部署以外の関連機関を見学することもあります。



### インターンシップ体験談

私は就職にあたり、獣医師の知識を活かして様々な分野の人と関わった仕事がしたいと思っており、厚生労働省ならそれができるかもしれないと考え、インターンシップに参加しました。

1週間のインターン期間中には食品監視安全課の業務説明、関連施設の訪問、実際の業務体験等をさせていただきました。

インターンシップに参加したことで、想像よりも幅広い仕事があることを

知り、どの仕事もスケールが大きいことに驚くとともに、自分には難しいかもしれないけれどここで働きたい！と思ったことを覚えています。

また、実際に働いている方々から仕事のやりがい、職場環境等を直接聞いたことはとても貴重な経験でした。

現在の業務は様々な分野の人と連携することで進められていて、学生の時にやりたかった仕事ができていると感じています。



健康・生活衛生局  
食品監視安全課

佐藤 千紗  
SATO Chisa